

# 今も変わらぬ生活を ～老いてるなんて言わせない～

特別養護老人ホーム 梓の里

介護福祉士 金崎 真理絵

介護福祉士 長嶋 達也

1



## 施設紹介

下田市加増野に位置し、温暖な気候の自然豊かな地域にあります。従来型の多床室の施設ですが、よりユニットケアに近いサービスの提供を目指しております。

「合言葉は明るく、優しい、毎日のケア」で、食事や入浴設備、年間行事が充実したいつも笑い声が飛び交う明るい福祉施設です。

2

## 取り組んだ課題

「その人らしい生活」が出来るよう支援した取り組みを試みてみました  
Aさん（仮名 91才女性）は社会的な方で、他者と関わるのが好きな笑顔の絶えない方でした。

ところが、認知症の進行により笑顔が消え、徘徊などの行動障害が多く見られてしまうようになり、他の方たちとの関わる機会が減少してしまいました。

入居当初お部屋にて行われていた編み物も段々と一人でできなくなってしまい、お部屋から職員がそばにいる場所に変更し編み物して頂くも行動障害と並行するように道具の管理ができなくなってしまいました。

それからは活気も減少し、何もしない日々が続き日常においてその人らしい生活というものが失われてきていた。

失われてしまったAさんの生活を取り戻すためAさんの周辺環境を変えてみる取り組みを行いました。

3

## 具体的な取り組み

各部署から情報収集を行い、ご家族様よりあらためてAさんの生活歴について詳しく聞き取りをさせていただきました。

昨年の認知症実践者研修からアセスメントシート等のツールを使用し職員間でAさんについて話し合う。

生活歴の中で若い頃は昼間は美容師、夜はスナックを営んでいたことから、入浴後の入居者様の髪をドライヤーで乾かし、ブラシで梳かしていただいたり、手作業がお好きで手先も器用であったので職員と一緒に洗濯物たたみから始まり洗濯物干し、食器洗い、お茶入れ、裁縫などを行っていただき本人に日常生活の役割を持ってもらい日々の生活で継続していただきました。

また、職員たちと天気の良い日には一緒に外へ散歩に出かけ四季の移り変わりを肌で感じていただきました。

4



職員と一緒に洗濯物をたたんだり、エプロンを干されている。

若い頃スナックを営んでいたこともあり洗い物はお手の物～

天気の良い日には職員と一緒に外へ散歩に出かけ気分転換♪

5

### 活動の成果と評価

始めはご本人様も乗り気ではなく、言われたから始めたような様子が見られていましたが、繰り返し実施していくことで徐々に表情が穏やかになっていき、洗濯物があれば「たたむよ、こっちに持っておいで」洗い場に食器があれば袖を捲り「じゃあやろうか」と自発的な行動が多くなり必然的に活動量の上昇にも繋がりました。

まだ取り組みをして1年ほどですが低下気味であった下肢筋力は改善され転倒のリスクが減少、ご本人の中で活動されるのが当たり前となり、率先して作業を行えるようになっていきます。

昨年8月末にはユニット行事としてミニ納涼祭を開催。その中で浴衣を着用され職員と一緒に盆踊りを披露。人との関わりに喜びを感じられ笑顔でいられる時間がとても多くなりました。

6

### Aさんの表情の変化

R6年6月取り組み開始時点



表情は浮かさない顔をされていて時折拒否もある。

反応はされるもそれ程気乗りされていない。

R7年 7月現在

段々と興味を示してくる。

一緒に作業行つ中で笑顔が出てくる。

ほぼ日課となりニコッと微笑むような表情多くなる。

7

### 今後の課題

今回は対象者を1名に絞った取り組みとなりましたが今後は多くの入居者様に生活を楽しんでその人らしい人生を送って頂けるよう工夫し支援を行っていききたい。

8

参考資料①



コーヒー紅茶、ビールに焼酎、なんでもお注ぎします。



昨年開催のミニ納涼祭にて浴衣に着替え、一緒に練習した自慢の踊りを披露

9

参考資料②



大好きなカラオケでストレス発散☆

夏空の下、ひまわりバックに決めポーズ



現役顔負けの鮮やかな手つき  
衰えたなんて言わせません！



10

参考資料③



誕生日、主役は私♪職員と一緒に  
お祝いをしました。



久しぶりの外出☆職員と足湯にも入  
りました。

11

ご清聴ありがとうございました。

特別養護老人ホーム 梓の里

12